

みんなで地球にやさしい物流を

グリーン物流パートナーシップ



(第4回) グリーン物流パートナーシップ会議

2006年6月19日

丸の内物流効率化実行委員会監事

水口 雅晴 (三菱地所㈱都市計画事業室副室長)

ビル建替え「街の更新」

第2ステージ
三菱一号館復元

丸の内仲通りフラワーギャラリー (2005春)

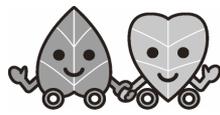


**江戸天下祭り
山車・神輿順行**



**打ち水大作戦
(2005年)**

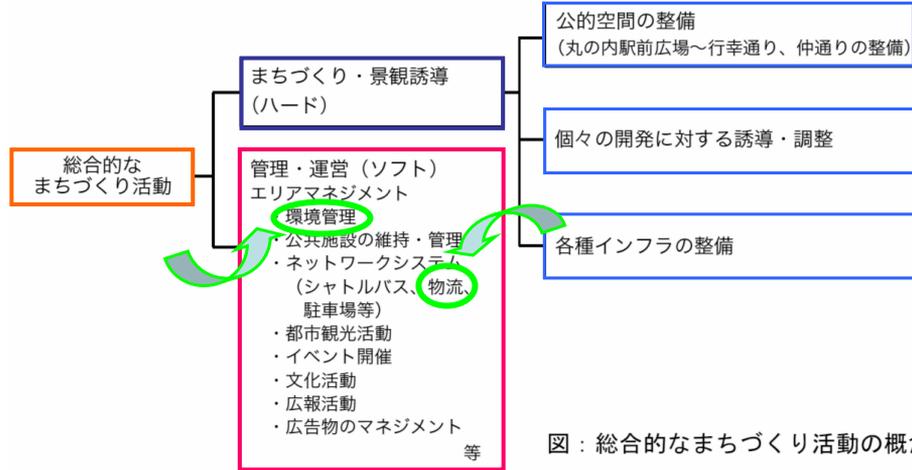




「まちづくりガイドライン」

サステイナブル

持続的発展のため総合的なまちづくり活動を推進



丸の内物流の経緯 ①...なぜ路駐・路上荷捌きか

S30～40年代 第1期の「丸の内再構築」
⇒現在も主力ビル群を形成

※郵便小包が主流

※ビル地下駐へのトラックの入庫
は想定外 (梁高=2m程度)



50年代

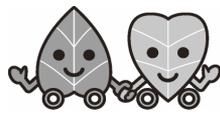
宅配便の普及

「丸の内物流調査(現在でいう社会実験)」

※共同配送に一定の効果検証

※実現・事業化はせず

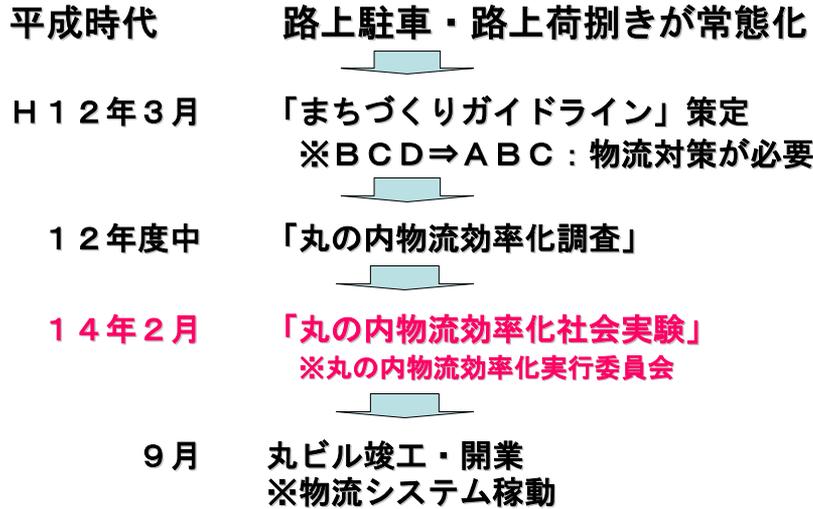




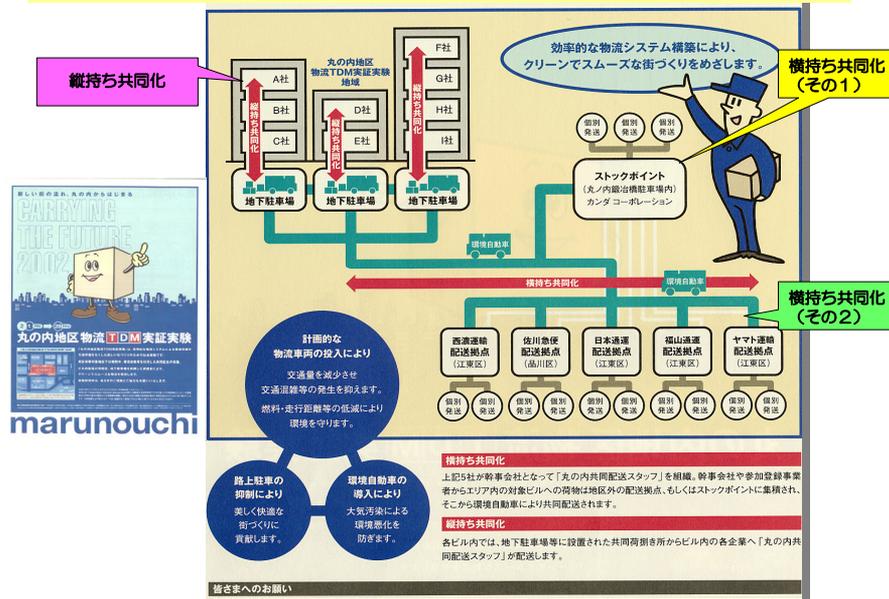
みんなで地球にやさしい物流を

グリーン物流パートナーシップ

丸の内物流の経緯 ②…社会実験→丸ビル維持へ



実験内容（縦持ち・横持ちの共同化）





共同物流を「市場原理」と両立させるには？

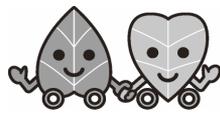
○ 今日の経済原則にそぐわないか？

共同物流は「市場原理」と相反する？

- ・ ある種の新しい規制
- ・ 物流事業者・荷主(ビル側)に共通の認識
 - ※Last・One・Mileで100円以上の共配手数料
 - ※事業者間の競争

○ 企業マネジメントの関心事とならない。

○ 経済以外の「環境」という新しい原則で再構築する必要がある。



街としての物流の課題①

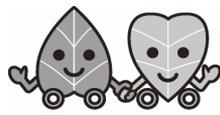
1. ハレ(晴れ:非日常)とケ(日常)・・・柳田國男
 - 街づくりの関心は「晴れ」に集中
 - ・シティセールスや華やかなイベントで勝負、国際都市
 - 日常業務は削減すべき「コスト要因」
 - ・官民共通の認識へ
 - ・物流はじめ防災・情報化・都市基盤・・・同様
 2. 更にドラスティックな「当節の」見解もある。
 - 街づくりやイベント自体がコスト要因
 - ビルの事業収支にマイナス貢献
- ↓
3. 外部経済効果の再認識
 - 環境改善、渋滞解消、交通事故削減→街の魅力アップ

ビルもがんばってます！・・・新設ビル

- 「物流センター」(約〇百㎡)の無償提供
- 「荷捌き駐車場」の無償提供
- 物流センタースタッフの人件費負担
※人件費だけで年間約〇百万円



- 開業当初の貨物EVの混雑は学習効果で緩和
- セキュリティ(不特定の業者が入館)の確保



街としての物流の課題 ②

- 主な関心…歩行者にとって良好な街路環境
 - ・歩行者＝来街者(お客様)、就業者
 - ・賑わい、明るさ、楽しさ、安全・安心…



- 2006年6月からの**駐車監視員民間委託**で路駐・路上荷さばきは削減される。

- 街としての課題は「一件落着」か？



- 街づくりにおける共同物流のプレゼンスを見失わない確かな「目線」の維持が重要



街としての物流の課題 ③

1. 再開発のプランニングやビル設計では建築部門と土木部門の緊密な連携が必要

- 物流は土木のテーマ、開発のフロントは建築
→事務屋的には全く理解出来ない発想

2. ビルの構造的問題

- 地下駐の天井高の確保には莫大な工事費アップ



3. 行政バックアップが必要

- (1) 公共性の確認

- 環境改善、渋滞解消、交通事故削減…プライベート？

- (2) 都市内(端末物流)施設の位置付けが不明確

- みんなの荷物の搬送・荷捌きなのに純民間
- 環境貢献するのに純民間

課題への対応フロー提案

1. 都市内(端末)物流施設の公共性・位置付け明確化
2. 協議の場
 - 従来の交通系の街づくり組織の活性化
※交通安全協会、駐車場協議会…
 - 鉄道利便増進法・駅まち事業のような都道府県呼びかけによる「法定協議会」
※都道府県の呼びかけに関係者の呼応義務
※協議会への国費補助
3. 街としての共通経費
 - B I D (Business Improvement District; ビジネス改善地区)の検討
 - 政府の審議会での検討(公的施設の民間管理など)

G物流ファミリーの皆様
これからもがんばりましょう！